

## 目標Ⅱ：地域住民等が主役となって活躍する地域福祉の推進

### 基本方針（１）ボランティア活動の普及・推進

#### 【現状と課題】

社協ではボランティアセンターみずほの事業として定期的なボランティア講座や「夏・体験ボランティア事業」などボランティア活動の普及・推進を行っています。それに伴い、ボランティア活動は年々増加していますが、地域社会も変化しボランティアを必要とする場面は多様化しています。様々なニーズに応えるためにも、幅広い年齢層のボランティアの参加が求められており、誰もが気軽にボランティア活動へ参加できるような機会やプログラムを豊かにしていく必要があります。

また、最近では引きこもりなどの課題を抱える方が社会復帰や参加のきっかけとしてボランティア活動を始めることも多くなりました。このような方を支えていくこともボランティアセンターの役割となっています。

#### 【今後の取り組み】

##### ①活動内容の充実

幅広い年齢層へのボランティア活動の普及・推進や活動を充実させるため、活動内容や活動場所を増やしていきます。地域の福祉関係者や企業等も含めて、地域の実情や特色にあった活動を検討していきます。

また、日頃の生活の中で買い物の付き添いや要援護者の見守りを行うなど、身近な活動を通してボランティア活動の普及を図っていきます。

##### ②ボランティア交流会やイベントへの参加

定期的にボランティア交流会を開催し、ボランティア同士が集まり、活動報告や情報交換を行う場を設けていきます。また、ボランティア活動を多くの方に周知するために、サマーフェスティバルなど地域イベントにボランティア有志が参加し普及・推進を行っていきます。

##### ③ボランティアリーダーの発掘、養成

ボランティア活動の普及・推進のためには、同じボランティアの立場で、その活動を推進してくれる「**ボランティアリーダー**」の存在が必要です。ボランティアリーダーとなってくれる地域住民の発掘や育成に積極的に取り組んでいきます。

特に定年をむかえ退職された方などが、技術や経験などを活用し地域活動へ参加しいただくよう働きかけていきます。

---

※夏・体験ボランティア事業： 毎年7月～9月の夏休み期間を利用して都内で一斉に行われるボランティア活動の体験学習事業